

Sports Induction Box

No. MGH957/ MGH957X
取扱説明書



株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1
TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ スポーツインダクションボックスをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

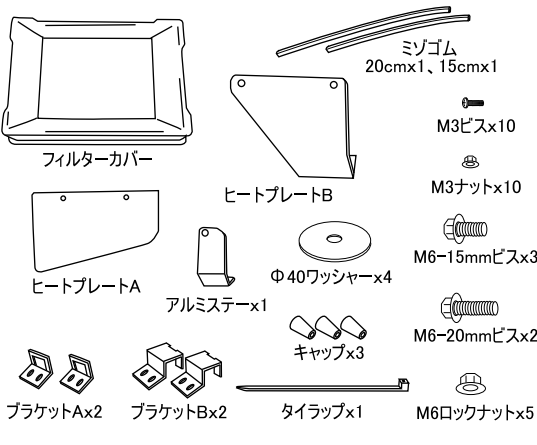
適合車種:アテンザ (GG/GY系 2.3L車)※マツダスピードを除く
(GH系 2.5L 2WD車)

警告

- 一般公道等、歩行者や他の交通の妨げになる場所では作業しないで下さい。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でサイドブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンを抜きエンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業を行う場合は作業に適した服装で、必要に応じて保護手袋、保護眼鏡等を使用して下さい。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。

正しいモータースポーツと暴走行為とは全く異質のものです。本製品を御利用頂く皆様に充分なる御理解と法規則にのっとった正しい使用をされる事をお願い申し上げます。

PARTS LIST



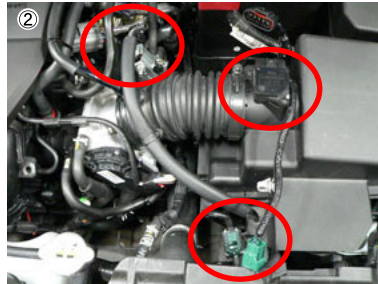
MGH957Xは、K&Nフィルター付きです。

取り付け方法

注)ボルト及びナットは緩み防止のため、必ずネジロック剤等を塗付して取り付けてください。



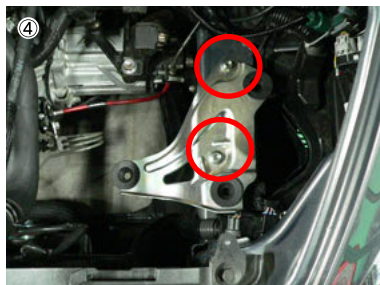
① ノーマルクリーナーケースを外すため、各パーツを取り外します。
※GG/GY系アテンザの場合、エアホースを外すためエンジンカバーを取り外します。



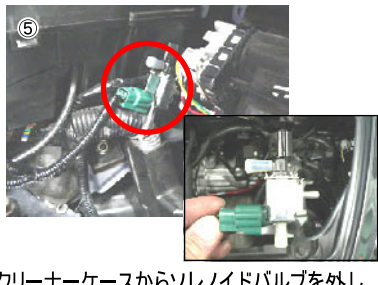
② エアフロセンサーカプラー・ソレノイドバルブカプラーとパキュームホースを取り外します。



③ エアインテークホースを最初に外してから、クリーナーケースを取り外します。



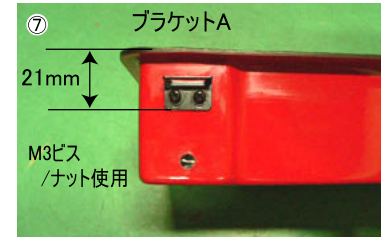
④ クリーナーケースを固定していたキャリアステーを一度取り外します。



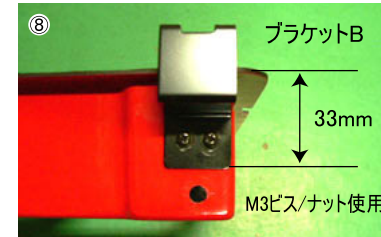
⑤ クリーナーケースからソレノイドバルブを外し、付属のキャップを差し込みます。次にカプラーを戻し写真のようにタイラップで留めます。



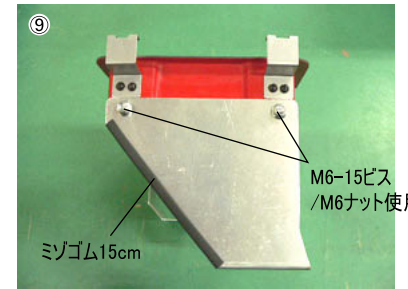
⑥ ソレノイドバルブからエンジンにつながっているパキュームホースをワンウェイバルブ部で取り外し、ワンウェイバルブにキャップを取り付けます。



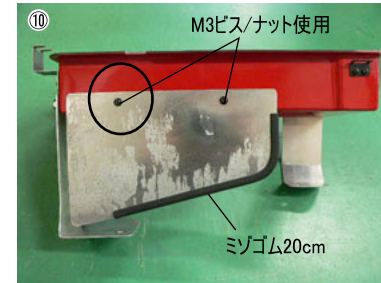
⑦ フィルターカバーにブラケットA・Bを取り付けます。※純正フィルターや社外フィルターと組み合わせる場合、フックに適度なテンションが掛かる位置に調整し取り付けします。



⑧ ヒートプレートBを取り付けます。写真のようにミゾゴムを貼り付けます。



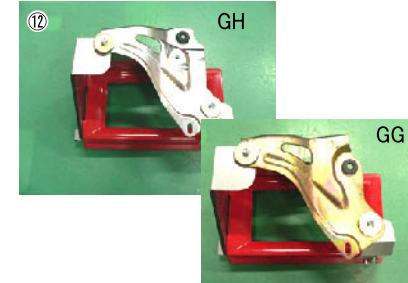
⑨ ヒートプレートBを取り付けます。写真のようにミゾゴムを貼り付けます。



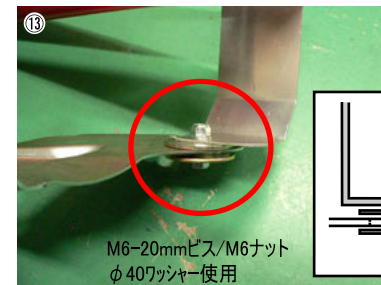
⑩ ヒートプレートAを取り付けます。写真のようにミゾゴムを貼り付けます。



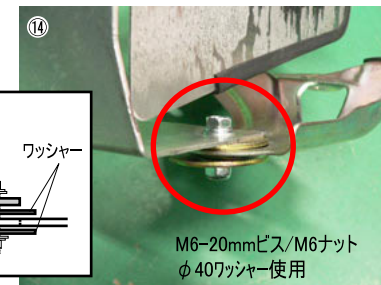
⑪ アルミステーを取り付けます。



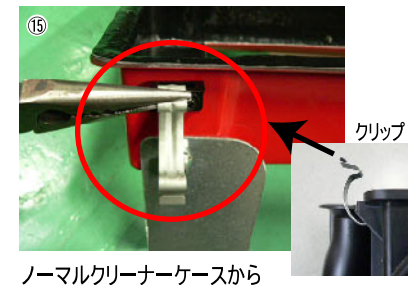
⑫ フィルターカバーとキャリアステーを写真のように取り付けます。



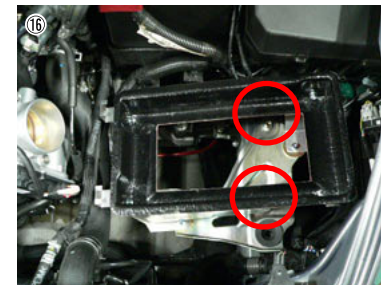
⑬ φ40ワッシャー・M6-20mmビス・M6ナットを使用して取り付けます。



⑭ 固定する際は、上下にワッシャーを挟んで固定します。



⑮ ノーマルクリーナーケースからクリップを外し、フィルターカバーのブラケットAに入れてプライヤーを挟んで留めます。



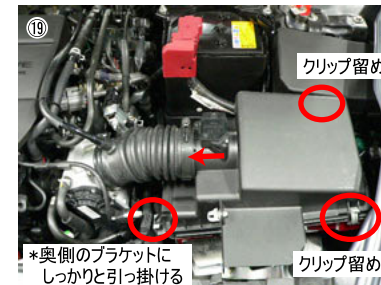
⑯ クリーナーケース上側をエアホースに差し込み、同時にフィルターカバーに取り付けます。奥側に先に引っ掛けてから、クリップ2箇所を留めます。



⑰ エアフロセンサーカプラーを戻します。



⑱ エアフロセンサーカプラーを戻し、エンジンカバーも戻します。



⑲ エアフロセンサーカプラーを戻し、エンジンカバーも戻します。



⑳ エアフロセンサーカプラーを戻し、エンジンカバーも戻します。



㉑ エアフロセンサーカプラーを戻し、エンジンカバーも戻します。